

# ICTで 授業 をDX!

学年 小学校5年 教科 家庭 など

## 学びの蓄積と交流がICTで簡単に

使用するアプリケーション等  
まなびポケット  
(スクールタクト)

単元・題材 ミシンでソーイング

本時の目標 ミシンに対する関心高め、題材を貫く学習課題をつくる。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### ICTを活用することで できること

- 自分の今までの作品を記録することができ、蓄積したデータをいつでも見返すことができる。
- 自分一人の考えだけでなく、クラスの友達がどうしているのかを確認することができる。
- グループ(3~4人)だけでなく、全員の考えを見ることができ、様々な考えに触れることができる。
- 自分の考えに不安がある児童も、様々な考えに触れることで、自信を持つことができる。
- 複数回に渡って、クラス全体で考えを共有する時間が多く確保できる。
- 最後のまとめを考える際、児童一人一人が書いたまとめから、頻出単語を視覚的に捉えることができ、キーワードを捉えやすい。

### DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

#### 1 導入

- ①前単元で作った小物を思い出し、学習を振り返る。
  - 手縫いのよさについて近くの児童と交流する。

#### 2 展開

- ①身近にある布製品を考える。
  - 近くの人と身近な布製品にはどのようなものがあるかについて話し合い、発表する。
- ②布製品のよさについて考える。
  - 近くの人と布製品のよさについて考えを出し合い、発表する。
- ③手縫いとミシン縫いの違いについて考える。
  - ワークシートを配布し、記入する。
- ④どのような特徴があるのか、グループになって交流する。
  - ワークシートを見合いながら、自分の意見を発表する。
- ⑤全体で共有する。
  - 自分の書いたことを発表する。
- ⑥自分の目標を立てる。
  - ワークシートに記入する。
- ⑦発表する。

#### 3 まとめ

- ①題材を貫く学習課題をつくる。
  - 児童が発表した目標が達成できる学習課題を設定する。

ミシンの安全な使い方を理解しよう。

DX!

### DX後 (赤字はICT活用場面)

#### 1 導入

- ①前単元で自分が作成した作品(手縫いの作品)をみて、学習を振り返り手縫いのよさを思い出す。
  - スクールタクトに保存しておいた自分の作品をみて**、作ったときのことを思い出したり、できあがった時の達成感や感動を思い出したりして、手縫いのよさを想起させる。

#### 2 展開

- ①身近にある布製品を考える。
  - 近くの人と身近な布製品にはどのようなものがあるかについて話し合い、発表する。
- ②布製品のよさについて考える。
  - 近くの人と布製品のよさについて考えを出し合い、発表する。
- ③手ぬいとミシン縫いの違いについて考える。
  - スクールタクトでワークシートを配布し、児童が考えたことを入力する。**
  - ミシン縫いの実物を配る。**
- ④全体で共有する。
  - スクールタクトは、一覧で見ること、個別に大きく見ること**できるので、児童が興味をもった考えを詳しくみることができることを伝える。
  - クラスの児童の意見を参考に、自分のワークシートにも記入していいことを伝える。**
- ⑤発表する。
  - 皆の意見をみているので、安心して発表することができる。
  - 皆がどのような言葉を多く使ったのか、視覚的に捉えるさせ特徴を確認する。
- ⑥自分の目標を立てる。
  - 端末上のワークシートに記入する。**
  - 何人かの目標をテレビに掲示しておく。**
- ⑦発表する。
  - 自分で書いた目標を発表する。

#### 3 まとめ

- ①この授業で自分の目標を達成するために学習しなければならないことを**まとめとして書く。**
- ②クラス全員の児童がどのような言葉を使って**まとめを書いたかを全体で確認する。**
- ③多く使われた言葉を使って、児童の言葉で「ミシンでソーイング」の学習課題を作る。

ミシンの安全な使い方を理解しよう。(怪我なく!)



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・児童の考える時間が多く確保できた。 ・児童の言葉や思いのこもった学習課題を作ることができた。
- ・他の児童の考えに触れることで、自分では考えていなかったような、ものの見方・考え方に触れる機会ができた。
- ・普段、発表に消極的な児童の考えも知ることができ、教員も児童同士でも相互理解が深まった。
- ・タブレットに打ち込み、各々が端末上で他の児童の考えを共有する時間と、話し合う活動での情報共有の時間両方を充実させるのは1時間では難しい。他児童の考えを知ることは重要だが、自分の考えを言葉で相手に伝える活動にも重点を置きたい。